

小さな群れ

カトリック美唄教会

2019年3月 No.262

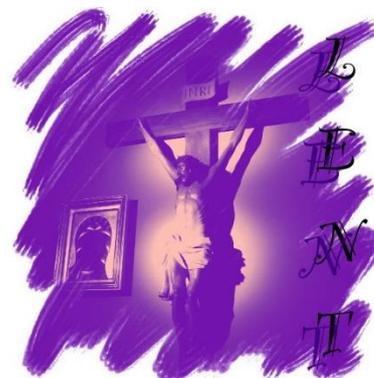
2019年2月24日発行

四旬節に向かって

ナルチゾ神父

「今こそ、心からわたしに立ち帰れ断食し、泣き悲しんで。衣を裂くのではなく、お前たちの心を引き裂け。」ヨエルの預言書 2. 13) 典礼は、灰の水曜日から四旬節に入ります。

イエスが宣教生活に入られる前に砂漠で 40 日間断食をされたことにならい、教会生活の伝統では断食、節制が行われてきました。ラテン語のクワドラジェジマ (Quadragesima :



四旬節) の 40 という日数の象徴的原型は、まさにこのイエスの 40 日の体験にあるのです。40 という数は、旧約の時代からすでに象徴的な意味をもっていました。キリスト者はキリストの断食と祈りに倣いたいという思いから自然にキリスト者の中におこってきたものです。キリスト教国でない日本では、四旬節のはじめである灰の水曜日と主の受難 (聖金曜日) を、大斎 (たいさい) ・小斎 (しょうさい) の日と定めています。大斎や小斎は、自分の心を神や人々にささげることのしるしです。四旬節にはことにその精神で生きたいものです。灰の水曜日ではじまる四旬節の 40 日間 (日曜日は数えない) は、1 年の典礼の頂点である復活祭を目指しての準備期間です。四旬節は、洗礼の準備回心と罪の償いという性格をもっています。教会は 3 世紀ごろから四旬節を洗礼準備の季節としてきました。この期間、洗礼志願者だけでなく、全教会の信徒たちが志願者たちのために祈り、また自分たちの洗礼の時を思い起こし、洗礼の約束を更新する準備をします。教会は、この期間を、なによりも主イエスの受難と死を思い起こし、救いの「時」の中心に向かって、回心と償いの期間として過ごします。この期間に、教会は、私たちの心が本当にどこに向かっているのかを問いかけ、自己中心から神と人々に向かう「心の転換」(回心) を呼びかけています。今日行われる「灰の式」は、「土から出て土に帰っていく私たちが、四旬節の努めに励み、罪のゆるしを受けて新しいいのちを得、復活されたおん子の姿にあやかることができるように」願って、昨年枝の主日に祝福していただいた、棕櫚 (しゅろ) やオリーブの枝を燃やした灰を司祭は一人ひとりの額にかける式も行われます。(Laudate)

2019年3月 主日ミサ・平日のミサ 予定

美唄教会 小さな群れ 2019年3月 No.262
2019年2月24日発行

3月の先読みは三間さんです。四旬節中は十字架の道行をします。

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	金	初金	午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
3	日	年間 第8主日	午前 11:00		
6	水	灰の水曜日	美唄教会での ミサはありません	砂川教会にてミサ 午後6時より	
8	金		午前 9:30	ミサ後聖書に親しむ	
10	日	四旬節第一主日	午前 11:00		ミサ後 運営委員会
15	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	施設訪問(佐々木、小山)
17	日	四旬節第二主日	午前 11:00		
21	木	北1条教会にて	午前 11:00	司教館で司祭叙階式	養島克哉 助祭
22	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
24	日	四旬節第三主日	午前 11:00		
29	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
31	日	四旬節第四主日	午前 11:00		

<p>《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10:30 1・8・15・22、29日 (8日のみ 午前 9:30)</p> <p>《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。</p> <p>《 ロザリオの祈り 》 1月～3月までお休み</p>

霊名の祝日	清掃当番
3/10 マリアフランシスカ 村田千津子	【第2週】坂本
3/19 ヨゼフ 小山政男、吉村道雄	【第4週】幼稚園、三間

◎四旬節中は、ミサ前10時30分から十字架の道行をします。

◎1月27日の世界子供助け合いの日特別献金は9290円になりました。カリタスジャパン送付致しました。

◎四旬節中の犠牲献金は復活節に集めますので宜しくお願い致します。

【 幼稚園行事 】

3/8(金) 参観日、駐車場は混雑しますのでミサ参加の方は要注意
3/16(土) 卒園式(午前10:00より)